

デイサービス

宿泊利用2人死亡

川崎の事業所

事故は計14件

川崎市内のデイサービス事業所で、通所者をサービス終了後もそのまま宿泊させる「お泊まりデイサービス」中に、2人のお年寄りが事故死していたことが5日、わかった。市は「介護保険の対象外のサービスなので、公表しなかった」と説明している。

市議会予算審査特別委員会で、三宅隆介市議（無所属）の質問に答えた。

市が事業所からの自主報告で把握しているだけで2009年度以降、骨折などの事故が14件あった。このうち昨年1月に87歳の女性が、今年2月に72歳の女性が、いずれも誤飲で窒息死

した。インフルエンザなどの感染症も4件あった。

市などが昨年11月に調査した結果、30の施設で「お泊まりデイサービス」をしていることがわかった。利用者にとってはショートステイより割安になる場合もあり、事業所にとっては翌日も引き続き利用してもらうことで、稼働率が高められる利点があるという。

「お泊まりデイサービス」については国も明確な指針を示していない。市は「実態の把握に努め、国の動向を見極めて対応したい」と話している。